

ひたちなか市公園等里親制度のご紹介

市では、現在、森林ボランティア団体の「いばらき森林クラブ」及び「ひたちなか里山の会」と公園等里親協定を締結し、連携を図りながら親水性中央公園の森林整備に取り組んでいます。里親団体は、チェーンソーや刈払機による樹木の間伐等の林床整理を行い、今ある森林を良好な形で保全し、豊かな自然を守ることを目的に活動しています。公園里親として森林整備等にご協力いただける方は、公園緑地課までお問い合わせください。



生垣の設置に助成します (※必ず着工前にご相談ください)

住宅地などに生垣を設置する場合、費用の一部(工事費の2分の1以内で、上限5万円)を助成し、市民の皆さんが実施する緑のまちづくりのお手伝いをしています。個人で、樹木や資材を購入して生垣を設置する場合でも助成します。

助成対象の条件など、詳しくは、公園緑地課までお問い合わせください。



「記念樹」の事前申込みにご協力をお願いします

市では、結婚、出産、新築された方へ記念樹を配布しています。令和5年度からは、記念の種類ごとに2つの樹種を用意しており、どちらか一方をお選びいただけるようになりました。配布の対象となる方には、「令和5年度記念樹配布のご案内」を配布していますので、事前申請期限(令和5年12月31日)までに、希望する樹種をお選びいただき、公園緑地課へ申込みの手続きをお願いします。詳しくは、公園緑地課までお問い合わせください。



皆様の善意が緑のまちづくりを推進しています

市では、緑地の確保や市民の緑化活動の助成などに活用することを目的に「緑のまちづくり基金」募金箱をコミセン、図書館、体育館などの公共施設29施設に設置しています。

この基金は、市の資金と市民の皆様からお寄せいただいた心温まる善意を積み立てています。今年度は次の方々からご寄付をいただきました。厚く御礼申し上げます。

(敬称略)

- 工機労働組合
- ふるさと納税(目的:緑地保全・緑化推進)640件
- 匿名 1件
- 緑のまちづくり基金募金箱 市内29箇所



お問い合わせ

ひたちなか市 公園緑地課

〒312-8501
茨城県ひたちなか市東石川2丁目10番1号

電話
(029)273-0111 [内線 1383, 1384]

再生紙を使用しています。

緑のまちづくり

ひたちなか市

No. 44

GREEN CITY・HITACHINAKA

2023年3月

花壇で街に“色”をつけよう

街に『花壇』がある風景

花壇は、地域の景観や人々に、癒しと潤いを与え、その場の雰囲気をもっと明るくしてくれます。また、花の育成や手入れなどを通じて、人が集まり、人がつながり、地域に一体感をもたらしてくれます。長らく続くコロナ禍による日常生活の様々な喪失は、地域社会にも少なからず影響を及ぼしており、地域での活動やイベント等が減少している中、地域の団結力や一体感の創出が難しくなっています。

そのような中、今回、勝田本町自治会が地域の子ども会と連携し、何もなかった場所に一から花壇を整備しました。その活動の一部をご紹介します。



花壇ができあがるまで

- 1 自治会館前に「彩り」がほしいなあ
- 2 土を掘るって思った以上に大変
- 3 色合いを考えて花植えます



- 4 色とりどりの花壇が完成!





あなたの街の「花壇づくり団体」を紹介します

フラワーサポーター「花優会」 ～「種」と「思い」を、次につなげる～

花優会は、東中根団地在住の、花への優しさで溢れた女性7名で活動しており、東中根第3公園の花壇づくりに取り組んでいます。活動は月2回で、「楽しながら綺麗にしていく」がモットーです。団体内の高齢化が進んでおり、長く、楽しく、花づくりを続けていくために、負担が少ない手法を心がけています。

その一つが、「種」から育てる花壇づくりです。花の種から蒔き、育て、大きく花を咲かせる。その花から採れる種を保存しておき、次の年にその種を使い、花づくりの循環を実践しています。苗や球根を土に植え込む作業よりも足腰への負担を軽減でき、またお財布にも優しい手法ですが、花づくりに対する豊富な知識と経験があってこそその成せる技です。

花優会代表の木村さんは、「コキアが色づき始める10月は、公園全体が彩りに溢れ、特におすすめの時期です。海浜公園も綺麗ですが、近場でコキアを見ることができますよ」と話されていました。



柏野フラッピー ～フラッピーの由来は、花(フラワー)で幸せ(ハッピー)の略です～

柏野フラッピーは、柏野団地在住の元気なシニア世代24名が中心となり、勝田全国マラソンのコースにもなっている、柏野団地入口の交差点から新川橋間の、約800メートルに渡る道路植樹帯の花壇づくりに取り組んでいます。

メンバー自身が日頃から愛着を持って活動に取り組んでいけるよう、各自に3～4本の担当樹を割り振り、月1回のメンバー全員での活動とは別に、自分のペースで担当樹の花壇の水やりや花摘みを行っています。

今年で23年目を迎える花植え活動ですが、スタートのきっかけは、団地に住むシニア世代の孤立、孤独、閉じこもりを少しでも無くしたいという思いからでした。

柏野フラッピー代表の皆川さんは、「自分たちが住む場所は、自分たちが綺麗にしようという考え方が基本です。現在は、四季を通じて沿道が花で彩られ、「綺麗になるね!ご苦労さん!」と声を掛けられる機会が増えています。その声は何よりも励みであり、自分たちの活動が、街行く人の目を楽しませているという自信にも繋がっています」と話されていました。



身近な公園をきれいにしましょう! あなたの街の「公園管理団体」を紹介します

市内約300の公園のうち、約6割の公園は自治会や地域の皆様に公園管理団体としてご協力をいただき、除草等の維持管理を行っています。今回、地域で活躍する公園管理団体をご紹介します。

ボランティアグループ「ひまわり会」～公園の美化活動から、まちの魅力アップへ～

ひまわり会は、東石川にある可美公園の公園管理団体として、草が伸びる夏季を中心に、除草や花壇づくりに取り組んでいます。

メンバーは、近隣在住の60歳～80歳代の総勢13名であり、「地域の公園を綺麗にすれば、街のファンが増えていく」という思いを共有した仲間たちが集まっています。

ひまわり会代表の戸枝さんは、「活動をしていてよかった点は、活動を共にするメンバーと公園に訪れる利用者の、双方の『笑顔』に触れることです。作業を通じてメンバー同士の親睦が深まり、また、ふとした時に公園に訪れた親子連れから、『綺麗な公園ですね』と笑顔で声を掛けられる。これからも頑張ろうと思えます」と話されていました。



はしかべ自治会 ～地域とつながる、公園清掃～

はしかべ自治会では、はしかべ第1公園及びはしかべ第2公園を管理しています。

6月の「環境美化運動の日」及び12月の「地域清掃活動の日」に合わせた作業では、地域の子ども会とも連携し、毎回、300名を超える地域の方々が早朝から一同に集結し、小さな子どもから高齢者まで幅広い世代の方々が一致団結して、除草や清掃を行っています。

はしかべ自治会会長の内田さんは、「この地域は外からの移住者がほとんどであり、お互いに顔も知らないことが多い。そのため、公園清掃を通じて、公園をきれいにするとともに、住民同士のコミュニケーションを深め、ひいては自治会活動の活性化にも繋がっている」と話されていました。



花壇作りお役立ち情報

ひたちなか市市民憲章実践部会では、市民団体が道路の植樹帯や花壇など、日常的に人の目にふれやすい公共施設などへ花を植える場合、その一部について助成金を交付しています。詳しくは公園緑地課までお問い合わせください。